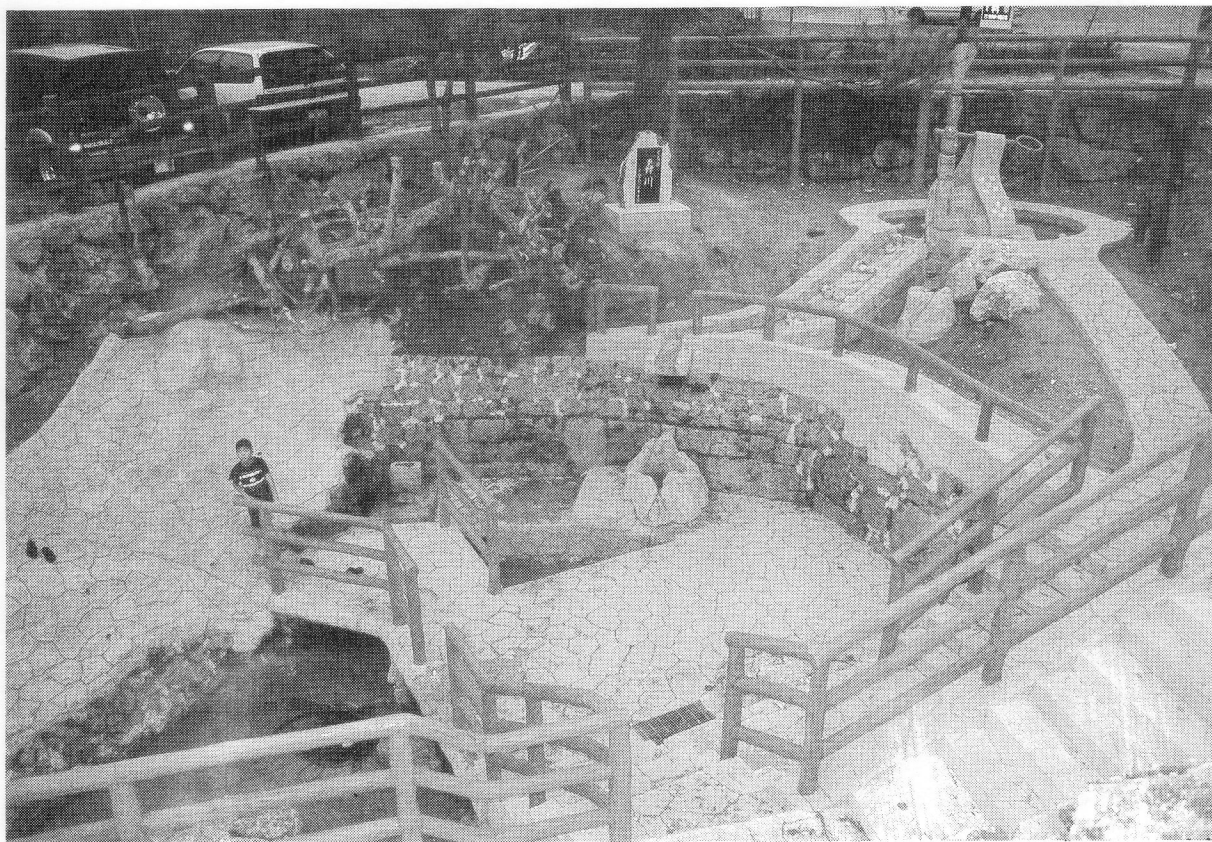


トゥドウルチガー



トゥドウルチガー

トゥドウルチガーは字高嶺公民館の南東、県道7号線沿いの豊見城団地入口近くにあります。

王府編纂の『琉球国旧記』に「平良井（平良轟）」と記録されており、当時から貴重な生活用水として利用されていたと思われます。また、島尻方面から那覇、首里への旧街道も側を通過しており、往来する人々も利用していたものと思われます。

以前は洗い物や水浴びができるほど水質も良く、干ばつの年には近隣の村から水を汲みにくるほど水量も豊富で、戦後は簡易水道としても一時利用していました。現在では周辺での諸開発によって以前に比べると水量も減り、水質も悪化しています。

現在はトゥドウルチガーを利用し「せせらぎ公園」として整備され、地域住民によって大切にされています。

